

外 来 診 療 の 案 内

令和6年10月現在

院長（兼）総合診療科部長（兼）地域医療連携室長（兼）医療安全管理室長 田中 修也
副院長（兼）小児科部長 水流 尚志 事務長 久永 勇一 総看護師長 梶原 貴美
〔診療科部長〕 呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 循環器内科部長 吉野 聡史 脳神経内科部長 有村 仁志

診療科	月	火	水	木	金
内科	応援医師（終日）	園田 理子 （日高 将気）	園田 理子	園田 理子 （日高 将気）	宇都 寛高
	リウマチ・ 膠原病外来（終日）			駿河 幸男	
	糖尿病外来（終日）		福重 恵利子		
	肝臓外来（終日）		長谷川 将 （第2、4週）		
	生活習慣病 予防検診・ドック			宇都 寛高 園田 理子	
呼吸器内科（午前）	呼吸器内科医師3名（田中 修也、中塩屋 二郎、宇都 寛高）				
呼吸器外科（午前）		前田 光喜			
循環器内科	初診	吉野 聡史	内門 義博	吉野 聡史	吉野 聡史
	再診	馬渡 浩史		馬渡 浩史	内門 義博
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来 脳ドック		
脳神経外科					鹿大応援医師 （第2、4週）
小児科	午前	水流 尚志 松村 優花	水流 尚志 松村 優花	水流 尚志 松村 優花	水流 尚志 松村 優花
	午後	初診・再診受付 14時～16時		健診・予防接種 13時30分～15時 初診・再診受付 15時～16時	初診・再診受付14時～16時 心エコー検査 応援医師（第4週）
放射線科（読影のみ）		応援医師（終日）			応援医師（午前）
腹部エコー	午前		検査室	検査室	検査室
心エコー		内門 義博	馬渡 浩史	馬渡（第1・3・5週） 内門（第2・4週）	吉野 聡史 馬渡 浩史
頸部エコー				放射線科（午後） 脳ドック	有村 仁志（午後） 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ 脳血流シンチ
内視鏡	午前／上部消化管				軸屋 賢一
	午後／下部消化管		重田浩一朗 弘黒 薫		軸屋 賢一
気管支鏡	午後			呼吸器内科医師	
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日

鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4
TEL：0995-22-8511 FAX：0995-22-6785
0995-22-9397（地域医療連携室）
Mail：hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制
となっています（内科は完全予約制）。待
ち時間短縮のため、電話での予約をお願い
します。
○電話予約：午後2～5時まで



さ ざ ん か
～県立北薩病院だより～

10月号
No.218

重要なお知らせ

長期収載品にかかる選定療養費について

令和6年10月から、長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）を患者さん自身
で希望された場合、選定療養費として自己負担が発生します。

○ 後発医薬品

後発医薬品（ジェネリック医薬品とも
呼びます。）とは、先発医薬品（新薬）
の特許が切れた後に販売される、先発医
薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果を
もつ医薬品のことです。
先発医薬品より安価で、効き目や安全
性は先発医薬品と同等であり、欧米では
幅広く使用されています。

○ 先発医薬品

先発医薬品とは、最初に開発・承認・
発売された医薬品のことです。新薬とも呼
ばれます。新薬を開発したメーカーには、
特許権が与えられ、20～25年の特許期間
中、その薬を独占的に製造・販売するこ
とができます。

選定療養費は**健康保険**
の対象外となります。



【対象品目】

- ・ 後発医薬品の上市後5年以上経過した長期収載品
- ・ 後発医薬品の置換率が50%以上となった長期収載品

ご自身のお薬が該当す
るかどうかは**かかりつけ**
の**薬局**へお尋ねください。

【自己負担額】

後発医薬品の**最高価格帯との価格差の4分の1**

先発医薬品
※令和6年10月以降、
医療上の必要性がある場合

保険給付

患者
負担

後発医薬品

保険給付

患者
負担

先発医薬品と
後発医薬品の価格差

先発医薬品
※令和6年10月以降、
患者が希望する場合

保険給付

患者
負担

価格差の1/4相当

特別の
料金

患者負担の総額

次の場合は選定療養費の対象外です。

- 処方医が医療上の必要性があると判断した場合
- 在庫状況等により、後発医薬品の提供が困難な場合

選定療養費について
は**自己負担**となり、
窓口での支払いが発生
します！

ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。



認定看護師の紹介

当院には、4分野の認定看護師が在籍しています。
今回は、「精神科」認定看護師について紹介します。



○ 精神科認定看護師とは

精神科認定看護師とは、精神科（心の病気に関わる医療）の看護について特別な勉強をし、資格を取得し、「精神科看護の領域において優れた知識・技術を有すると認められた看護師」のことです。精神科認定看護師の資格を持った看護師は、次のような仕事・役割を持っています。

- ・ 患者さんへ質の高い精神科看護を実践すること。
- ・ 患者さん及びご家族からの精神科看護に関する相談に応じること。
- ・ 看護チームや、他スタッフへの精神科看護に関する指導を行うこと。
- ・ 精神科看護に関する知識の発展に貢献すること。

○ 精神科認定看護師の活動内容

精神科認定看護師は、心に問題を抱える患者さんに対して幅広い知見から質の高い看護や支援を行っています。患者さん本人への看護活動の他、ご家族の相談に乗る取り組みやスタッフへの指導など、指導的な立場で業務にあたることが多い資格です。

- ・ 専門知識を用いた看護
専門知識を用いて、患者さんに適切なアドバイスや指導を行います。
- ・ 認知症の患者さんへの支援
認知行動療法を取り入れた看護やスタッフからの相談の受付、うつ病や問題行動への支援策などを行います。
- ・ 他スタッフに対する指導
病院内のスタッフに対して、看護倫理、専門性の高いうつ病看護、精神科薬物療法看護、児童・思春期精神看護、薬物・アルコール依存症看護、老年期精神障害看護などの指導や、研修を行います。
- ・ 他スタッフとの連携
精神科認定看護師は現場での看護の提供だけにとどまらず、薬剤師や医師をはじめとした他スタッフとの連携も積極的に行います。高い技術や知識、経験をもとに、部署や所属を飛び越えた連携をすることで、患者さんに質の高い看護を提供します。
- ・ 災害時での活動
精神科認定看護師は、災害や緊急時、パンデミックにおけるメンタルヘルスケアにおいて不可欠な存在であり、その取り組みはますます重要視されています。平成28年の熊本地震では、全国から派遣された医療チームと共に精神科認定看護師が孤独感やPTSDのリスクを抱える人々に寄り添い「心のケア」を行いました。また、新型コロナウイルスのパンデミックでも、感染症対応の現場で、クラスター発生施設や医療従事者に対してメンタルヘルスサポートを提供し、心の健康を守るための活動を続けました。

認定看護師による 出前研修のご案内



当院では、伊佐地域の医療・看護の知識の向上を目指すため、施設・団体等へ認定看護師による出前研修や施設内ラウンドを実施しています。
詳しくは、当院の医療安全管理室へお問い合わせいただくか、当院のホームページをご覧ください。

なお、講師費用は無料です。

○ 当院に在籍する認定看護師の分野

- (1) がん化学療法看護認定看護師
- (2) 精神科認定看護師
- (3) 緩和ケア認定看護師
- (4) 感染管理認定看護師



～ 活動報告 ～



令和6年7月27日（土）開催の「伊佐市夏祭り」の総踊りに参加しました。

当院は5年ぶりの参加でしたが、楽しく踊ることができました。

暑い中見に来てくださった皆さま、また参加された皆さま、ありがとうございました。

令和6年9月7日（土）に菱刈環境改善センターにおいて、伊佐市救急医療講座が開催されました。（主催：伊佐市医師会、共催：伊佐湧水消防組合・県立北薩病院）

当院の水流副院長兼小児科部長が「子どもの救急」と題して食事時の窒息事故の事例や事故防止対策などについて講演を行い、また、伊佐湧水消防組合によるAED（自動体外式除細動器）の実技指導も実施され、当院の看護師も参加しました。



令和6年9月13日（金）に入院中の高齢な患者さんを対象に「敬老の日」をお祝いして田中院長が病室を訪問し、患者さん一人ひとりへ「早く元気になられて長生きしてください。」と声を掛けながら記念品の贈呈を行いました。

患者さんの「ありがとう！」という声や頷きながら喜ぶ顔が印象的でした。